

— 学校教育目標 (スクール・ミッション) —
文武両道の実践を通じて、「知徳体」の調和のとれた地域に有用な人材の育成

令和4年度 第 1 号です。1 学期を振り返ってみました。

八女高だより



第77回入学式

4月7日木曜日、第77回入学式が行われ、新入生240名が入学しました。新型コロナウイルス感染症予防のため式典及びその後のホームルームも短い時間での実施でしたが、真新しい制服に身を包んだ生徒たちにとって、晴れやかな高校生活最初の日となりました。



ホームルームの様子

新入生宣誓
松尾圭悟さん
(黒木中出身)

保護者は別室でホームルーム
をZoom視聴

令和4年度
第1号(7月20日発行)
福岡県立八女高等学校
校長 江崎 章
編集 企画広報課



【本号の内容】
第77回入学式
新規採用教員紹介
大運動会 他

ダンス部 第22回定期公演会

4月29日(金・祝)にサザンクス筑後小ホールにおいて、第22回定期公演最終章を開催しました。すべてのプログラムにおいて気迫のこもった華麗な演舞で観客を魅了しました。また、OGの方々や書道部とのコラボもあり、会場は大いに盛り上がりました。



祝！文芸部 (全国大会出場)

全国から過去最多の60チームの作品の応募の中から予選通過の12校の中に選ばれ、8月20日(土)、21日(日)宮崎県日向市で行われる「第12回牧水・短歌甲子園」本選(全国大会)に出場します。出場選手は、姫野佑菜さん(3年広川中出身)、今村茉瑚さん(3年筑後北中出身)、中石陽菜多さん(3年福島中出身)の3名です。

祝！女子剣道部 (九州大会出場)

5月29日に行われた福岡県高等学校総合体育大会剣道大会女子団体において準優勝し、7月1日(金)~3日(日)久留米アリーナで行われた第69回全九州高等学校剣道競技大会に出場しました。九州大会では、予選リーグを全勝で勝ち抜き、決勝トーナメント(ベスト8)進出を果たしました。出場選手は、東優笑さん(3年三潯中出身)、西悠莉さん(3年黒木中出身)、古賀夢菜さん(3年西中出身)、朝日美結さん(2年瀬高中出身)、東優心さん(2年三潯中出身)、添島楓さん(2年高田中出身)、安達友香さん(2年黒木中出身)の7名です。

大運動会開催!!



ドローンによる撮影 集合できたことに感謝



ブロック全員で取り組んだあの熱気はきっといつまでも忘れない!



6月4日土曜日、「進華~NO REVOLUTION NO FUTURE~」というテーマのもと、3年ぶりに待望の大運動会を開催しました。

「言いにくいことをみんなに伝える勇気がなかったけれど、実行委員やブロックリーダーが背中を押してくれた。これから受験という壁が立ちは大丈夫かと思いましたが、みんながいれば大丈夫と思えた。これからも仲間の大切さを忘れずに過ごしていきたい。」大運動会実行委員長 鶴元葵さん(3年福島中出身)は大運動会の感想文で、「一番大切なこと」として仲間の大切さを書いてくれました。

1・2年生の保護者の方々には観覧を控えていただき大変申し訳ありませんでした。

来年は是非とも通常開催ができるよう願っています。

「フレッシュマン紹介」

今年度、新規採用教員として赴任された2名の先生方を紹介します。



柴尾 有星(しばおゆうせい)先生

- ①教科 …数学
- ②学級 …1年4組副担任
- ③部活動…野球部・バドミントン部
- ④八女高校や八女高生についての印象
伝統があり、その良い部分を継承しつつも、新しく生まれ変わっている学校。生徒の皆さんはとても純粋で、周りの人たちを大切にできる人が多いと感じています。そして、勉強、部活動、学校行事などに一生懸命に取り組む、いつもハツラツとした表情の生徒さんがたくさんいるなど、こちらパワーをもらっています。
- ⑤今後の抱負について
まずは私の存在を皆さんに知ってもらえたらと思っています。そのためにも、みなさんに興味を持ってもらえるような魅力ある大人になっていきたいです。そして、すべてにおいて感謝の心を忘れず、謙虚な姿勢で、全力を尽くして参りたいと思います。

川原 将(かわはらまさし)先生

- ①教科 …地理歴史・公民、専門は日本史
- ②学級 …1年2組副担任
- ③部活動…ソフトテニス部
- ④八女高校や八女高生についての印象
赴任前は「伝統校であり、学業に専念している学校」という印象でした。しかし、赴任してみると学業はもちろんですが、学校行事や部活動にも積極的に取り組む学校であると感じています。また、礼儀正しい挨拶を行い、まじめな生徒が多く、何事にも一生懸命に取り組む生徒が多い印象です。
- ⑤今後の抱負について
「川原先生の授業をもっと受けてみたい!」と生徒に思ってもらえるようになるのが一番の目標です。特に歴史は教科書での学びだけでなく、少し足を運べば様々な文化財や遺跡等を肌で感じるすることができます。私自身が肌で感じたことを少しでも授業で還元したいと思います。